

放送番組審議会議事録

- 1 開催年月日 平成20年7月17日(木) 19:45~20:50
- 2 開催場所 奄美市名瀬金久町4番3号 特定非営利活動法人ディ会議室
- 3 出席委員 委員総数 7名
出席委員数 5名
出席委員の氏名 西平功/師玉俊朗/佐竹京子/別府亮/町ゆかり
欠席委員の氏名 重信千代乃/永江直志
放送事業者側出席者名 丸田泰史/嘉川孝之/中原優子/小野健太郎/水間由里子

4 議題

- (1) 「英会話のOVA」について
- (2) 一般聴取者の意見、要望等
- (3) その他

5 議事の概要

夕方17:30~19:00に放送の「ゆぶいニングアワー」内で放送している、郷土文化への理解を深め、また生涯学習の一環として、英語と島の方言を一緒に教えるコーナー「英会話のOVA」を主な議題として審議。各地域でかわる方言の扱い方や、もっと方言を充実させてほしい、等提案が寄せられた。一般聴取者の意見、要望等では、シンポジウムで寄せられた意見を含め、今後番組を充実させるための方法が提案された。その他では、放送技術面の質問などが寄せられた。

6 審議内容

- (1) 「英会話のOVA」について

別府委員

こなれてきて聞きやすいコーナー。独特で面白い。妻が英語の先生なのですが、絶賛しています。

佐竹委員

おばあのキャラクターに圧倒されている。某英会話教室を思わせるタイトルも面白い。

町委員

今日聞いたサンプルは方言の日で、スペシャルバージョンだったのですか。いつものワンフレーズというより、単語でやっていないですか。単語よりはワンフレーズのほうが、実際に使えるかなと思います。また、方言のほうの尺をもう少し伸ばしてもいいのかなと。中原さんの英語もですが、もう少し島のおばあちゃんの使い方がわかるような形で、シチュエーションまでわかるような。もうちょっと方言を聞いていたいな、という気がしました。

師玉委員

「英会話のオバ」でなく「方言のオバ」だと思いますけど。面白く聞いています。実用で使うことはないと思いますが、覚える側としては、自分なりに「こうかな」と思ったりして。良い形を作ったと思います。方言のおばあちゃんは、どこの方ですか。

-放送局 中原

(龍郷町) 芦徳です。でも元々は笠利で、ちょっと笠利の言葉が入っています。

師玉委員

集落、集落で方言は違いますからね。どれが標準語なのかというと、また難しい。瀬戸内に行く
と独特なイントネーションがあるし。

英会話のオバで、おばあちゃんに英語をしゃべらしたらどうでしょう。

町委員

今回、浦島太郎の唄だったのですが（おばが、浦島太郎は最後は「死んだ」と話したが、相手役の
中原の「本当に死んだの？」との問いにより、おばが自ら浦島太郎の唄を歌い、歌詞を反芻して
気づき、訂正したことについて）昔話は、その方が聞いて知っているお話であれば、そのままを
話させて、決して誘導はしないほうがいいと思います。そうやって伝わっているものであれば、
きっちりと、それを話させてあげる方がいいと思います。

西平委員長

古仁屋ではそう言わない、というような話があったが「恵原義盛さんの本によると」ということ
を言っているから、島口のスタンダードみたいな所でやっていたら、文句はつけられないと思う。
また、ここではこう言うみたいです、という事も言っている。おばが発音を強弱つけるなど変化
させていく、というのが面白い。また今は単語で、体の場所がどれ、という風になっていて、ち
よっと物足りないなと思う人がいるかもしれない。どこに合わせるかなんだけど、単語の場合は、
似た言葉でこういう風になります、とか、いくつか派生させることで解決できるのでは。
ちゃんと聞いていると、島口と英語と日本語のトライリンガルになっていける。素晴らしい。昔
よく聞いた島口を聞いて、「そういえばそういう事を言っていたな」と思う。

佐竹委員

そういうのがあるからいいのよね。私は両方わからないから、今から覚えても忘れる方が多いか
ら、聞いてるだけにしています。最後のなぞなぞは、何だったんですか？

-放送局 中原

「とうぐらなんとう、はんめとうりや、たるだりょんかい？」とうぐら＝キッチン、はんめ＝ご
はん、「キッチンで一番ご飯をとるのは誰ですか」という問題で、答えはしゃもじです。郷土研究
者の間さんが昔新聞連載していた記事を頂いたので紹介しました。

このコーナーは私が英語をしゃべれるという事で、それだけでは面白くないので島口と一緒にし
てはどうかという事で始まりました。おばは今2代目で、前は英語をワンフレーズに対し、島口
をワンフレーズ言ってもらってたんですが、今のおばはおしゃべりが上手で、派生させておしゃ
べりをして、なるべく多く島口が聞けるようにしています。その分編集時間は長くなりますが。
最初は何も資料がなく、英会話の本から英会話表現を島口に直していましたが、現代語が入って
きて、島口にならなかつたりしたため、島口での表現を先行させたほうがいいと考えました。な
るべくシンプルなものを選んで提示していきたいと思います。自分でも文章にしたいという考え
はあったのですが、ネタがなくなってくるのと、単語でも知らないものが沢山あるので、恵原先
生の本を参考に作っています。また、普段島口を使う機会が減っているため、おばが覚えていな
い時が多い。恵原先生も根瀬部の島口で表現が違うこともあり、おばも最近「本には何て書いて
あるの」と、本を見て思い出す事があります。思い出した表現は本とはまた少し違いますが、
おばは龍郷の人なので、本が全て正しいというわけではありません。請島出身のリスナーの方が、
よく電話を下さって、後日またその表現を紹介することもあります。

先日は「お父さん・お母さん」というシンプルな単語だったので、奄美群島の各島々の方々に、

電話で表現を伺いました。島口を研究している方達で、快く協力してくださいました。いつもそこまで出来れば一番いいんですが。おぼの島口もたまに間違ってる事があるみたいですが、それはもう、おぼが言った言葉として解決をしていかないと難しいです。

西平委員長

これを繰り返して聞くことによって、方言の意味はわからないけど響きが面白いと、シャレに使ったり、言葉遊びが出てきているでしょう。文化が生まれてきている。

町委員

私は沖縄から来て、島の方言がわかりにくかったが、与論などが入ることでどちらもわかるようになった。地域毎で見えてくる事があるので、面白かった。新鮮でした。沖縄の人が聞いたとしたら面白い。沖縄も北部、先島と言葉が違う。北部も与論のようにパピプペポになる。

西平委員長

笠利も（ハヒフヘホが）パピプペポになる。

(2) 一般聴取者の意見、要望等

今回は5月に行なわれたシンポジウムで提案のあった意見も含めて審議した。

①既存の放送について

- ・時報がずれている。

一放送局 丸田

時刻を自動調整するシステムが高価で導入を見送り、電波時計に合わせ手動調整しています。

師玉委員

地デジの試験放送が始まっていますが、あれも2秒くらいずれていますね。

別府委員

車で聴くことが多いが、車の時計がずれているので気にした事がなかった。あまみエフエムで時計を合わせる人はいるのだろうか。

一放送局 嘉川

手動調整を2〜3日行わないと、2秒位ずれてきます。こまめに調整すべきなのですが、つい忘れる事が原因だと思います。また、稀にプログラムミスで10秒位ずれる事もあります。

- ・島唄の音楽番組で、曲名、唄者の紹介が欲しい

西平委員長

技術的に可能なのか。音楽だけ流している番組では、曲間への挿入は難しいのでは。

一放送局 嘉川

現在は曲をランダムで流すようにプログラムしています。理想は歌番組を作ることですが余裕がないので、唄と紹介をセットで録り直すことが一番負担の少ない方法ではないかと考えています。

師玉委員

明日の島唄、とか、流れる曲は前もって分からないのか。

一放送局 嘉川

時間になって初めてプログラムが開くため、放送前に曲を確認することができません。

- ・ニュースで地元紙の記事を読んでいるが、「ーと思います」「ーようです」という読み方はしない方がよい。

一放送局 丸田

記事の語尾の読み替えについては了解を得ていますが、替え方は考慮したいと思います。

②欲しいコーナーについて

- ・島唄が得意な人の所に行って、収録をしてほしい。この先貴重な音源になると思う。

西平委員長

島唄の収録は、別の仕事という感がある。ちょこっと行って雰囲気だけ録ってくる分にはいいけど、収録して、というのは現実的には難しいのでは。

師玉委員

NHK かどこかで、大和村に舟で行くような時代、テープレコーダーを持って録っていたのを聞いた事がある。

別府委員

特派員みたいな人がいるといい。好きでやってくれる人がいれば。

一放送局 中原

集落での取材の際、その集落の唄を聞いたりするのですが、人を集めて唄ってもらうのは難しい。

一放送局 嘉川

「ラジオ喜界島」というホームページでは、制作者が自分であちこち行って録って流しています。番組については全てマンパワーの問題で、今後、住民参加の番組枠でできればと思っていますが、先日のシンポジウムのアンケート結果は「こうしてほしい」という要望はあっても、「自分でやる」という所までは結びつきませんでした。ただ他の、おおすみ等のラジオ局では、住民参加の番組枠では、話し手もミキサーも、録音までボランティアがチームを組んで行っています。今後番組を増やしていくとしたら、そういった手法を導入しないと難しいと思います。

- ・安くておいしいお店の紹介

西平委員長

色々からんでくるから難しい。1人を定点として、責任を全部かぶせてやるんだったらいいけど。

別府委員

スポンサーもありますしね。

一放送局 水間

リスナーからの人気投票等、まだまだお便りが少ないので、巻き込めるような方法を検討したい。

西平委員長

お昼のランチ紹介は、やっているのでは。

一放送局 中原

「ヒマバンアラカルト」というコーナーで、広告料を頂いて放送しています。

一放送局 嘉川

ほぼ1店舗しか利用がありません。500円でやっているんですが。

町委員

放送の後に、広告料金もPRしては。

佐竹委員

こんなに安いんですよ、と言ったほうがいい。高いんじゃないかなって思うから。

一放送局 丸田

営業側で見直しをして、充実させたいと思っています。

・デイサービスの方々など、お年寄りの茶飲み話

西平委員長

ラジオ側からのネタ提供、ということか。

別府委員

井戸端会議をそのまま流して欲しい、という感じでしょうか。

一放送局 中原

当初、飲み会の席の会話などそのまま流して欲しいという意見が多かった。当人たちは楽しいが聴いている方はどうか。それに似た番組がありましたが内輪ノリで聴く人を意識しないと厳しい。

西平委員長

設定だけ居酒屋みたいにして、スタジオでやる、という話なら大丈夫か。

・ラジオドラマ

西平委員長

原作、脚本を考えたり、大変そうだ。真空管ラジオの頃は、かじりつくように聞いていた。簡単な脚本を書いて、高校生にやらせてみては。また〇周年記念などで、脚本募集をしてみてもは。5分間で、最後に「行きゅんにゃ加那」をかける、という括りをつくるとか。結構面白いものを作るのでは。

別府委員

中学の時、NHK の放送をいつも聞いていた。毎晩楽しみだった。効果音が入ったりして。島の話とか、読み聞かせの現代的な感じでは。

一放送局 中原

現状は人手が足りず実現は難しい。どこかの団体などにボランティアで全て制作してもらえようになれば。

佐竹委員

学校の文化祭の朗読劇など、いいなと思う。うまくやれば、やりたいと思っている人はけっこういるのでは。島の昔話をアレンジしてドラマにしてみてもは。

一放送局 水間

住民参加番組として、これまでは企画から全部住民の手で行なう形式でしたが、ある程度こちらで企画を起こして、それに沿って制作をしてもらおうという事もあっていいのではと思う。

別府委員

趣味のサークル活動がどんな形でラジオになるか、流れがわかれば、参加しやすいと思う。

町委員

沖縄の桜坂劇場ではワークショップを沢山実施している。講師の取り分は半分で、残りは映画館の収益になる。ワークショップの発表の場として、ワンコインで利用できる仕組みもある。そのやり方を、ここでも活かせるのでは。コンペに近い形で出してもらって、作品を作っていけば。

・若い母親の子育てについてのアドバイス

佐竹委員

高齢出産でも若い出産でも、母親はちょっとしたことが心配。そういうコーナーがあってもいい。

西平委員長

若いお母さんは情報を欲しがっている。テレビのコマーシャルを見て「うちの子はおしっこが青くない」と悩んだり。

別府委員

子育てサークル等が番組づくりに来てもらって、やってもらうのが一番良いと思う。

町委員

2組ぐらい、おしゃべりさせながらやってもらうのもいいですね。会話が弾むと思う。

(3)その他

師玉委員

技術的な事で、曲がパンと切れて番組が切り替わってしまうのは、もう少し上手にできないか。

一放送局 嘉川

現在、スタジオ、パソコン、CS 放送の音声ソースがあります。パソコンと CS、CS とパソコンの切り替わりするときにはスイッチャーという機械を入れていますが、フェードアウトできる機能のあるものは高額なため、妥協し、導入を見送っています。

師玉委員

アナウンサーのオーディションなど、あると面白いと思う。

町委員

主人と相談したが、もし番組が足りないのであれば、学芸員のコーナーをトピックのように設けて、全群島の人たちにまわすようなものが出来ると思う。

一放送局 水間

自分たちには直接つながりがないので、ネットワークを持っている、町さんのご主人のような方に協力していただけるのであれば、心強い。

佐竹委員

私たちに対する要望を言ってもらえたら。

7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日 なし

8 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

- ① 自社放送：平成 20 年 9 月 6 日(土曜日)17:30～「ゆぶいニング・アワー」番組内で放送
- ② 書面の備置き：平成 20 年 9 月 4 日(木曜日)から、当該事項を記載した書面（議事録）を当法人事務局へ備置き、聴取者の閲覧希望に対応
- ③ インターネット：平成 20 年 9 月 4 日(木曜日)より当法人インターネットのホームページに掲載

9 その他の参考事項 なし